

2013年 3月 31日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 紀伊國 献三 殿

施設名 聖路加国際病院

代表者 院長 福井 次矢



2012年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業助成
に係る報告書の提出について

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 研究・研修事業 2012年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業
2. 期 間 2012年 4月 1日 ～ 2013年 3月31日
3. 報 告 書
 - I 事業の目的・方法
 - II 内容・実施経過
 - III 成果
(上記Ⅰ～ⅢをA4縦・横書 6,000字程度にまとめる)
 - IV 収支報告
 - ①助成金の使途(人件費以外は領収書等の証憑書類を添付)
 - ②当該助成金に関わる部分の決算書「写」
(貴機関の全会計決算書ではなく、当該助成計上部分のみで可)
※決算期の関係で2013年3月18日(月)までに「写」を提出できない
ときは提出予定日を記入
(提出予定日 年 月 日)
 - V 研修修了者報告書

以上

平成 24 年 3 月 18 日

平成 23 年度ホスピスドクター養成研究事業報告書

■ はじめに

ホスピスドクターの育成は、日本の緩和医療事情の発展に不可欠であり、年々その需要は高くなってきている。聖路加国際病院緩和ケア科でも緩和ケア病棟、緩和ケアチームや外来による活動が盛んで、チームの要となるホスピスドクターの教育には力を入れている。今年度も笹川医学医療研究財団よりお力添えをいただき、ホスピスドクターの養成研究を行うことができたので、ここに報告する。

1. 事業の目的・方法

<目的>

一年間の医師研修を行うことによって、緩和ケア病棟における中心的役割を果たすことが出来る医師を態度、知識、技術面から教育し、緩和医療の普及に貢献することを主な目的とする。また、医師養成を行う際に必要なカリキュラム、システム、待遇等について検討する。

<方法>

当院での研修を希望した松田洋祐を一年間レジデントとして採用し、教育、評価を行った。

2. 内容・実施計画

当院での研修体制を参考に作成された、全国ホスピス緩和ケア協会作成の緩和ケア病棟における医師研修指導指針（別紙）に基づき教育、指導を行った。

待遇

- ① 当院常勤職員として、35 万円/月を支給した。

II. 成果

1. 研修修了者の評価と成果

1) 自己評価

① 別紙参照

2) 指導医による評価

まず、緩和ケアを実践する医師としてふさわしい態度を身につけ、実践できたと思われる。患者を全人的に評価するのみならず、家族とも良好な関係を保ちチーム医療を実践することができた。今後は、後進への指導にも力を発揮することが期待される。

実際の診療面でも十分な知識と技能を身につけたと思われる。今後は、緩和ケアに関する教育、研究にも力を入れるとともに、腫瘍学にもふれる努力が必要と思われる。

2. 研修実施施設としての成果

○面談の機会をもつ

松田医師の研修を知識的な面からもサポートできるように、テーマを決めた面談を企画したが、定時で行う事が出来なかった。行った面談自体は有用だったようで、今後は定期的に行うように計画したい。

○後進の指導による効果

当院、ジュニア、シニアレジデントと共に診療に当たる機会をもつことにより、後進の指導に当たる機会をもった。知識の整理と、当院レジデントとの交流の機会となった。

○第5回 医学生・研修医・若手医師のための緩和ケアセミナーでの発表

松田医師が研修を振り返る機会として、また彼自身のキャリアを示し、研修を希望する医師が増えることを期待して緩和医療学会主催の第5回 医学生・研修医・若手医師のための緩和ケアセミナーで、発表する機会をもった。松田医師自身の自信にもつながり、更なる意欲につながったものと評価している。

○組織の編成

緩和ケア科が病院内科グループの一つに加わることになった。当科のみならず、内科全体の指導体制の下で必要な指導が受けられるように体勢を整えた。

○研究への繋がりをもつ

多施設共同研究の機会をもってもらい、多施設との交流や研究に関する知識と経験の蓄積をはかった。

○研修の周知、広報

貴財団による研修の案内を、講演を行う度に実施するように年度後半心がけた。今後は、年間を通して、研修の案内を行い周知に心がけたい。

III. まとめ

今年度、松田医師の研修を行うことによって、松田医師自身の成長が得られたとともに、当科としての研修体制にも大きな成長を得ることができた。これらの成果を来年度の研修にも活かし、より良い研修施設として成長していきたい。

最後になりましたが、貴財団による助成にこそより感謝いたしております。ありがとうございました。今後ともよろしく願います。